



WOMAN, WHY WEEPEST THOU? BY MARK R. PUGH

救い主の復活を目にした多くの証人たち

「わたしは、新約聖書の中にある救い主の復活に関する多くの証人、すなわちペテロと十二人の使徒たち、清いマグダラのマリヤとそのほかの人々の経験や証を信じます。わたしは、モルモン書にある証、すなわち、使徒ニーファイとバウンティフルの地にいた名もない大勢の人々の証を信じます。また、多くの証の後に、この最後の神権時代の偉大な証、「小羊は生きておられる。わたしたちは……小羊を見たからである」と宣べたジョセフ・スミスとシドニー・リグドンの証を信じます。全能の神が鋭い目で御覧になる所で、ナザレのイエスが復活された贖い主であることの証人として、すべてはイエスが復活されたという事実から始まっていることを証します。皆さんがこれと同じ証に確信と慰めが得られますように。」

十二使徒定員会 D・トッド・クリストファーソン長老
「イエス・キリストの復活」『リアホナ』2014年5月号, 114

自分に当てはめる —— わたしたちは復活された完全な贖い主の御姿を目にしてはいませんが、今日、主の証人として立つことができます。時間や場所にかかわらず、主を生活の中心に据えることはできます。心を込めて奉仕の手を差し伸べる度に、イエス・キリストの真の証人として立つことができます。優しさや思いやり、すべての人への敬意を示し、真理を擁護し、福音についての証を述べるときに、証人となります。

DETAIL FROM WALK WITH ME, BY GREG OLSEN. 撮影は禁じられています。

独りで歩かなくてもよい

「このイースターの時期に最も心の慰めとなることの一つは、長く、孤独な道をイエスがたった独りで歩んでくださったおかげで、わたしたちがその道を歩む必要がなくなったことです。イエスの孤独な旅は、その縮小版であるわたしたちの旅路に大いなる同伴者、すなわち天の御父の憐れみ深い御手、常に近くにいるくださる愛子、聖霊の大いなる賜物、天使たち、幕の両側にいる家族、預言者と使徒、教師、指導者、友人を与えてくれました。イエス・キリストの贖いと主の福音の回復により、これだけでなく、さらに多くの同伴者が〔与えられています〕。カルバリの出来事のおかげで、たとえ孤独を感じることがあっても、決して独りではな〔い〕……という真理をわたしたちは知っています。……」

……「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、死に至るまでも」キリストのそばに立つことができますように。わたしたちのために死なれたとき、そして究極の完全な孤独に置かれたとき、キリストはわたしたちのそばに立っておられたのです。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
「だれも主とともにいなかった」『リアホナ』2009年5月号, 88

自分に当てはめる —— 今年の復活祭に、救い主の最後の孤独な旅を思い出しましょう。主は持つておられるものすべてを犠牲にして、あなたや地上のあらゆる人が清くなり、永遠の命を得られるようにしてくださいました。主の完全な模範から学びましょう。主を頭と心に留めましょう。そして、あなたは決して独りではないことを常に覚えていてください。主は最後の旅を完全に独りで堪え忍ばれたので、あなたをお見捨てにはなりません。あなたへの主の愛は無限かつ不変です。また、自分自身の旅を続けるあなたに対して、主はいつでも平安と慰めと希望を与える用意ができておられます。贖罪の賜物は永続するものであり、あなたに与えられたものです。■

復活祭を理解するうえで過越が役立つことについて、[lds.org/go/41817](https://www.lds.org/go/41817) を参照してください。

